

齊藤 高広 先生

先生のプロフィール

【出身地】 東京都

【専攻】 経済法

【近年(2~3年)の担当科目】

経済法 A・B、外書講読など

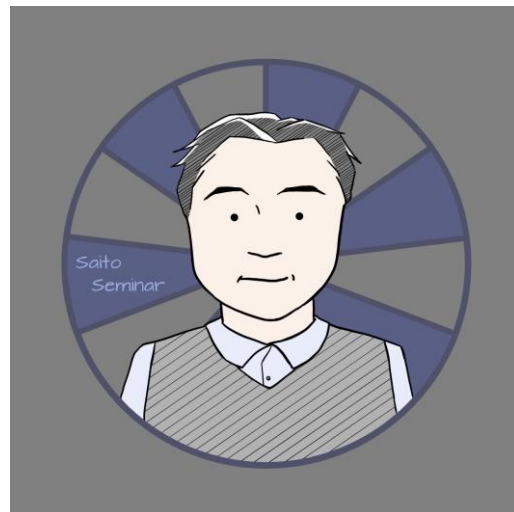
【マイブーム】

ガソリン価格の調査目的という名のドライブ

【好きな食べ物】

ここ最近だと、キウイ

(ゼスプリ「キウイブラザーズ」動画を見て)



【齊藤先生への質問コーナー】

【学生】 人生で大切にしている信念、または座右の銘があれば教えてください！

【先生】 物事に柔軟に対応できなくなり、バージョンアップする機会を失いそうな気がするので、その手の言葉は持たないように心掛けています。ちょっとズレた回答をすると、<A Rolling Stone gathers no Moss> という諺が好きです。①苔が生えるまで1つのことに専念しないと何も身につかない、②常に動いてないと苔が生えてしまい成長しない、という相矛盾する魅惑的な解釈ができるからです。

【学生】 先生はどうして教授になろうと考えたのですか？

【先生】 漠然と、プロフェッショナルに憧れを持っていたことだけは、確かです。でも、本当にそうなれたのは、マックス・ウェーバー『職業としての学問』にあるように、ハッピーすぎる偶然、つまり、単なる「僥倖」です。この本を読んだ高2の秋頃、某予備校の大学特集で「Q：なぜ●大の教授になったのですか。A：偶然です。」とのやりとりを見て、「2人とも、そんなわけないだろ！」とツッコミを入れた記憶がありますが、でも確かに、少なくとも私自身にとっては、真理のようです。

【学生】 そんな先生が専門的に扱うに値した「経済法分野」の魅力とは！

【先生】 民法・刑法・行政法・会社法・知的財産法・国際私法・労働法・マイクロ経済学・ゲーム理論にも関連し、運輸・航空、デジタル・人材・宇宙ビジネス・AI……と、次から次へと全方向から挑戦相手が挑んでくる、まるで総合格闘技のような法分野。どこかで琴線に触れることがあるのでは、と思っています。

【学生】 あなたにとって経済法とは？

【先生】 専念しても極められず、常に動いてないと時代に対応できないが、それでいて全集中を求められる、仕事と趣味の合成物。

【学生】 最後に！齊藤ゼミを希望する未来の生徒に向けて、メッセージをお願いします



【先生】 さして期待もせずに出席した大学入学後のガイダンスで、飛び抜け説明が上手く、心に響く先生が1人いて、調べると経済法の先生でした。「なんだか微妙過ぎる法律だし、まあ、この人、縁無いな……」と思いましたが、気づけばご覧の有様です。この仕事に就いて随分経ってから気づいた実話です。何もこのゼミとか私自身の仕事とかに限ったことでもないと思うのですが、論理的思考力、情報収集分析力、文章によるコミュニケーション力のほか、直感的な「何となく」感だとか、あとは、各人で異なるムリ・ムラのある学生時代、ムダなチャンスを見逃さないことも大事かもしれません。まだやるべきことが見つかっていない人も、そして、すでにやりたいことが見つかっている、と思い込んでいる人も。

★プログレッシブ齊藤ゼミの実態！（2025年度ゼミ生17名）

★齊藤先生のトリセツ♡

経済法だけでなく、あらゆる分野において造詣が深い先生です。議論や質問の際には、自分の意見をうまくまとめられなくても、本人の意図を的確に汲み取り、論理化して手助けをしてくださるので、怯まずに自分の意見をもって参加することを推奨します。何より、齊藤先生は優しいので、多くのゼミ生から慕われているのです！

日々や休暇中の課題（課題の有無や内容・形式）

活動内容

【日々の準備、課題】

担当グループによる報告準備：経済法判例・審決百選で扱う事例について、概要と判旨を註釈したうえで、企業の行為における不当性、経済的背景を分析して事件の論点と私見（主に反対意見）を考える。

【長期休暇課題】

経済法の視点を取り入れながら業界・市場を研究調査し、プレゼン。A4×4枚程度（レジュメ and/or パワポ）

【ゼミのタイムスケジュール】

・最近のニュース（紹介・雑談）

[開始～30分]



・担当者からの発表

[30分～50分]



・質問やディスカッション、先生からの解説 [50分から終了時間]